

農委だより

第49号
令和5年1月

発行：大潟村農業委員会 秋田県南秋田郡大潟村字中央1番地1 TEL 0185-45-3654 FAX 0185-45-2162



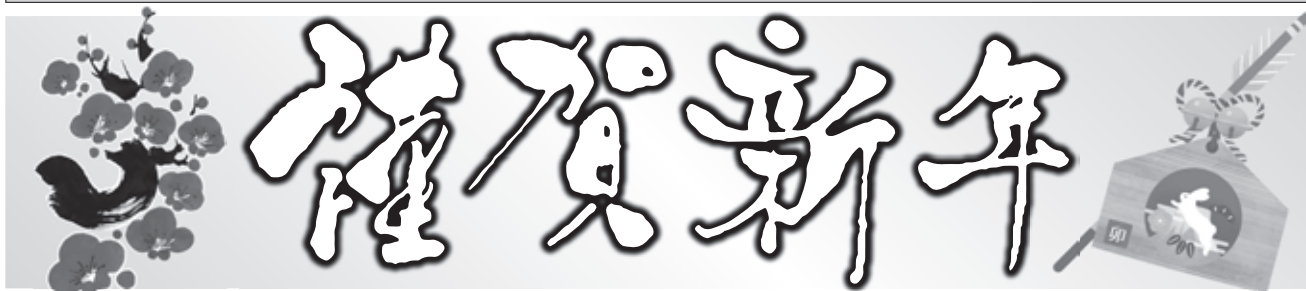
迎春

農地パトロールの様子（令和4年7月）

おもな内容



- ・年頭のあいさつ P 2
- ・農地部会・農政部会の活動報告 P 3
- ・秋田県農業委員会大会報告 P 4・5
- ・村内団体の活動紹介(大潟村ポルダ-結婚支援センター) ... P 6
- ・村内団体の活動紹介(J A大潟村青年部) P 7
- ・農業委員会 1年間の活動 P 8



新年あけましておめでとう
ございます。皆様にはつつが
なく新しい年をお迎えのこと
と思います。また、平素より
村農業委員会に對しましてご
理解とご支援をいただきまし
て厚くお礼申し上げます。
昨年十月に任期満了に伴い
十三名の新委員が任命されま
した。四名が新任委員となり
平均年齢も大幅に若くなりま
した。委員一同、皆様のご期
待に沿えるよう村内における
諸問題の解決、農地行政のス
ムーズな運営に全力で取り組
んで参ります。私も引き続き
会長の任を仰せつかり会長四
期目となり益々精進していく
所存です。

今年も全国各地で自然災害
が多く発生しました。本県



年頭のあいさつ

会長 大島 和夫

も七月から八月に断続的に激
しい降雨が続き県北地区から
中央地区で河川の氾濫、農地
の冠水にみまわれ、農作物や
家畜等に甚大な被害を受けま
した。村内でも八月前半に二
〇〇ミリを超える降水量があ
り畑作物に多大な影響を受け
ました。その後も曇天が続き
水稲も登熟不良となり大潟村
農協の調査によると作況指数
八十六の「著しい不作」とな
り大変厳しい年となりました。
米価は前年よりは僅かばかり
上がりましたが二月にロシア
がウクライナに軍事侵攻した
ことによる輸入物資の不足、
急激な円安の影響もあり燃料
肥料、機械等の値段高騰によ
り農家経済は厳しさを増すば
かりです。

新型コロナウイルスの影響
で見送られていた「全国農業
委員会会長代表者集会」（一
般社団法人全国農業会議所
主催 十二月一日）が二年ぶ
りに東京・銀座プロツサム会
館で開催され全国各地より数
百名が集い活動方針の確認と
今後の方向性が討議されまし
た。秋田市農業委員会の事例
発表もありとても有意義な集
会でした。前日には、モン
レー半蔵門において「秋田県
選出国会議員要請集会」（秋
田県農業会議会長 二田孝治
主催）が開催され昨年十一
月に秋田県農業委員会大会で
の決議事項と地域の課題を強
く要請いたしました。

農業委員会の重要な業務の
ひとつが七月と十一月に行わ

れる農地パトロールです。大
潟土地改良区、大潟村農協の
ご協力のもと、村内圃場、周
辺増反地、育苗用地等の調査
を行い改善が必要と判断され
た圃場を検証して農地部会で
協議します。その結果に基づ
き対象農家に改善の協力をお
願ひしています。遊休農地は、
周辺増反地の十アール区画の
圃場と育苗団地に恒常化され
つつある圃場が見受けられま
すが、昨年、一昨年と県有地
を含む約五十二ヘクタールが
売却、改善され適正な状況に
近づきつつあります。今後も
大潟土地改良区、大潟村農協
周辺農業委員会と連携して解
消に努めてまいります。農家
の皆さんから信頼される確な
情報提供の窓口になれるよう
委員、事務局共々努力してま
いります。村民の皆様方のご
健勝とご多幸をお祈り申し上
げまして新年のご挨拶といた
します。

農地部会の活動報告

農地部会長 工藤 猛



大潟村農業委員会では、農地法（農地及び採草放牧地の取り扱いについて定められた法律）第30条の「毎年一回その区域内にある農地の利用状況について調査しなければならぬ」という規定に基づき、7月と11月、育苗団地や周辺市町村の増反地を含む村内全域を4班に分けて農地パトロールを行っております。そして、農地パトロールの結果を農地部会で報告、協議をし、遊休農地又は遊休化の恐れのある農地については農地法第32条に基づき、所有者に対し農地の利用意向調査を

文書で行い、それに対し「売りたい」「貸したい」等の意向が示されれば農業委員会と相談に応じていきます。このような活動により少しずつではありますが成果があり、昨年から今年にかけて県有地を含め約52haの農地が改善されました。現在、遊休農地は僅かですが、今後耕作者の高齢化や相続放棄などにより農地の遊休化が加速することが懸念されます。農地は一度荒れてしまうと隣接圃場にも悪影響を与え、また手放す際にも次の借り手、買い手がつきにくくなってしまいます。農地の管理などでお困り際には、気軽に農業委員会にご相談ください。

今期より農業委員会の農政部会長を務めさせていただくことになりました。昨年までの2期に渡って農地部会に所属しておりましたので、農政部会は分からないことばかりですが、しっかりと勉強して農業者の皆様へ有益な情報等を広く発信していきたいと思っております。農政部会の主な活動として、新年に発行される『農委だより』にて農業委員会の活動の報告や農業者の皆様に必要な情報を提供しております。本誌4頁には権

川健一委員から今年度の農業委員会大会の報告、5頁には大会趣旨を掲載しております。今年度の秋田県農業委員会大会への要望としては「物価高騰・米価下落等への支援策について」という形で提案させていただきました。また、6頁には婚活支援優良団体として認定を受けました結婚支援センターの活動について、7頁には活躍する若い担い手である農協青年部より活動の紹介を掲載しております。これからも農業者の意見を行政に伝え、行政の情報を広く発信してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

農政部会の活動報告

農政部会長 渡邊 琢磨



本年もよろしく
お願い致します



会長

大島 和夫

会長職務代理

小林 信之

農地部会長

工藤 猛

農政部会長

渡邊 琢磨

委員

北村 雅幸

高木 茂之

遠藤 誠

猪股 悦誠

田中 誠

松橋 良悦

佐藤 友能

土井 博文

椎川 健一

事務局

武田 聖子

澤井 公子

委員会大会報告

委員 椎川 健一



令和4年11月1日、秋田県農業委員会大会が大仙市の大曲市民会館において約540人の県内農業委員らの参加のもと開催されました。はじめに、主催者である一般社団法人秋田県農業会議の二田

孝治会長は、あいさつにて「農地の集約を巡っては各現場に個別の課題がある。行政や関係機関と連携し、日本の農業を守るという気概を持って活動してほしい」と力強く呼びかけました。

つづいて議事に入り、議案第1号「農地利用の最適化の推進と持続可能な農業・農村を創るための施策提案」

議案第2号「農地利用最

適化活動の見える化と地域計画（人・農地プラン）の策定・実行の推進に関する申し合わせ決議」の審議を行いました。

議案第1号

については、
●近年にない円安とロシアのウクライナへの侵略は、

エネルギー価格の上昇とこれに伴う肥料・飼料など生産資材価格の高騰を招き、経済活動に重大な支障をきたしているほか、農業者にとっても経営の持続を脅かす深刻な状況になっていること。

●新たな農地利用の最適化に取り組み、農地の保全と多様な人材も含む担い手等の結集を図りながら、地域の農地を活かし、持続的な農業・農村を創ること。

などです。こうした状況を踏まえ、農業委員による日常の活動や農業者との意見交換会などを通じて、直面している課題や農業現場からの意見を現に向けて提案しています。

議案第2号としては、

●地域計画の策定と実行に向け、引き続き意向把握や話し合い、マッチングに取り組もう。
●農地利用最適化活動の

透明性の確保と見える化を進めるため、活動の記録、点検、評価と公表に着実に取り組もう。

●目標地図の素案作成に係る意向把握や現地確認活動記録の記入等の活動の効率的な実施に向け、タブレット端末の活用を進めよう。

と、上記の3事項について申し合わせました。

そして提出されたすべての議案が満場一致で可決され、その後には前年大会決議事項の経過概要の説明がありました。最後は、出席者全員で「がんばろう三唱」を行い、閉会となりました。

今大会に参加して、大潟村における基幹産業である農業の発展を繋げていく役割や、耕作放棄地のない農地を維持していくことは我々農業委員として重大な責務であると改めて認識できた大会となりました。

単位：ha

町村名	配分当初積面	現有面積	前年面積	増減(通算)	単年度増減	
大潟村	8,975	9,405	9,391	430	14	
男鹿市(旧若美町)	675	507	509	△168	△2	
三種町	旧山本町	12	13	1	0	
	旧琴丘町	328	276	277	△52	△1
	旧八竜町	541	423	423	△118	0
八郎潟町	446	336	347	△110	△11	
その他	0	17	17	17	0	
計	10,977	10,977	10,977	-	-	

R5.1.1現在

配分農地の市町村間
所有権移動状況

農業・農政の情報紙
全国農業新聞を
購読しましょう!!

全国農業新聞は
農業者の利益代表機関である
農業委員会系統組織の機関紙です。
農業者の立場に立つて編集・発行している
農家のための情報誌です。

購読料 1か月/700円
毎週金曜日発行
申し込みは大潟村農業委員会
事務局 ☎45-3654まで。

第66回 秋田県農業

秋田県農業委員会大会において審議された議案

農地利用の最適化の推進と持続可能な農業・農村を創るための政策提案

新型コロナウイルスの収束が見通せない中、Withコロナに舵を切った形で社会はこれまでの活動や日常を取り戻すべく、もがきながらも動き始めている。しかしながら、近年にない円安と2月に始まったロシアのウクライナへの侵攻は、エネルギー価格の上昇とこれに伴う肥料・飼料など生産資材価格の高騰を招き、経済活動に重大な支障をきたしているほか、農業者にとっても経営の存続を脅かす深刻な状況となっている。

また、世界の食糧事情や気候・環境が大きく変わる中、食料安全保障やみどりの食料システム戦略を踏まえた環境調和型農業を推進するため、今こそ国民に対しての理解醸成に向けた取

組を強化すべき時期となっている。

一方で、我々農業委員会組織は、改正農業経営基盤強化促進法により法定化された「地域計画（人・農地プラン）」の策定から実行までの積極的な関与といった、新たな農地利用の最適化活動に取組み、農地の保全と多様な人材も含む担い手等の結集を図りながら、地域の農地を活かし、持続的な農業・農村を創る活動を着実に進めていく必要がある。

こうした状況を踏まえ、農業委員・農地利用最適化推進委員による日常の活動や農業者等との意見交換会などを通じて、直面している課題や農業現場からの意見を取りまとめたので、その実現に向けてここに提案する。

I 食料安全保障の確立に向けた対策

- 1 生産資材の安定供給対策の確立
- 2 国民運動の展開

II 米の需給安定に向けた対策

- 1 水田活用の直接支払交付金の見直し
- 2 米の需要安定に向けた対策の強化

III 農地政策の強化

- 1 農業農村整備対策の促進
- 2 農地集積率の目標と集積率の算出方法の見直し

IV 農業経営・担い手育成対策

- 1 多様な人材確保と活躍機会の創出
 - ①「新規就農者育成総合対策」の充実強化
 - ②女性農業者が働きやすい農業・農村環境の整備と意思・政策決定機関における登用の促進
- 2 スマート農業の推進
- 3 みどりの食料システム戦略の推進

V 農村政策等の強化

- 1 条件不利地域への支援強化
- 2 有害鳥獣被害対策の強化

VI 自然災害からの復旧・復興対策

- 1 8月豪雨による被災農業者等への支援
- 2 農村の防災・減災対策の強化

その他、議案として

「農地利用最適化活動の見える化」と「地域計画（人・農地プラン）の策定・実行」の推進に関する申し合わせ決議が提出され、全会一致をもって決議されました。

◎農地の賃借料情報

令和4年1月から令和4年12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10a当たり）は、右記のとおりとなっています。農地法の改正に伴い、標準小作料制度が廃止されたことから、これに代わるものとして、農地（周辺市町に配分された増反地は除く）の賃貸借の実勢価格を毎年提供しています。

周辺市町に配分された増反地については、農業委員会事務局までお問い合わせください。

問い合わせは農業委員会（Tel.45-3654）まで

（単位：円/10a）

賃借料	平均額	最高額	最低額
	29,700	35,000	24,000

※データは令和4年1月～12月の集計値

※平均額は面積で重みづけした加重平均値

寄り添う支援をめざして

大潟村ポルター結婚支援センター 事務局 佐野 麻寿美



大潟村ポルター結婚支援センターは本年設立6年目を迎えます。また個人としても大潟村の結婚支援に携わらせていただき12年目になろうとしています。今日までに様々な婚活イベントでたくさんの方々と出会い、ご縁が生まれる場面に同席させていただけたことは本当に「やり甲斐」の一言に尽きます。

村の少子化対策の一環である婚活事業。農業委員会を始めとする7つの村内団体から計15名の方々に協議会委員としてご協力いただきながら、年間4〜6回ほど婚活イベントを企画・開

催しています。協議会の方々は担当の婚活イベント毎にチームに分かれて運営会議を重ね、イベント当日は会場スタッフとしても活動していただいています。

ここで、「ポスターは見かけるけど、そもそも大潟村の婚活イベントってどういうことをしているの?」という疑問にお答えします。

イベント当日、受付が済むとお開きまでの約2時間(イベント内容により時間は異なります)、参加者は終始ニックネームで呼び合います。初対面の方に本名をお知らせすることなく気楽な空気のなかスタート。例えば昨年大変好評だったイベント「浴衣で楽しむ小さな縁日」はその名の通り、参加者全員が浴衣姿で大人だけのレトロな縁日を楽しむという内容でした。浴衣

の着付けは村内団体「結いの会」さんにご協力いただき、参加者は当日手ぶらで集合、好きな浴衣と帯を選んで着付けまでもらえるという手軽さと、滅多に着ることの無い浴衣という非日常に男女ともに気分は急上昇!色とりどりの浴衣姿と笑顔がマツチした時間となりました。また

毎月第2・第4水曜日に相談日を設けるとともに、より結婚の意識を強くお持ちの方向けにお見合いスタイルの小規模イベントも適宜開催しています。進行役の協議会委員を間に、じっくりお相手と話せる雰囲気

が、昨今までの支援活動が県の婚活支援優良団体として認められ、県主催イベントで活動内容の発表・意見交換の機会に恵まれました。市町村の垣根を越えて互いの婚活支援の様子を語ることは、支援方法の新たな発見だけでなく、地道に積み重ねてきた取り組みへの自信も得ることができました。そしてまた、当センターのイベントに参加した方々から「順調に交際が続いています」「結婚しました」という明るい報告が届いていることも、私たちの原動力に繋がっています。勇気を持ってイベントに

参加してくれた方々に喜んでもらえる出会いの場を創りたい、そのことを常に心掛けながらこの先も大潟村の結婚支援に励んでいきたいと思っています。少しでも出会いの機会に興味をお持ちでしたら、気兼ねなく大潟村役場2階の当センターへお越しください。一緒に考えながら良いご縁に向かって進んで行きましょう。



打合せを重ね、企画しています



協議会スタッフも浴衣着用♪

若手の声は神の声である

J A大瀧村青年部 部長 戸嶋 宏輝



新年あけましておめでと
うございます。日々の青年
部活動にご理解、ご協力を
賜り感謝申し上げます。

各種団体への寄稿もこれ
で4回目になろうかという
ところである。なかばテン
プレート化された挨拶をど
う変えていくかが課題とな
りつつあるとともに、自分
の文章能力の低さ、ネタの
少なさも改めて認識させら
れているところだ。そんな
中、高い構文力を駆使して
いる世代がいる。時代は令
和5年である。各SNSへ
の「おじさん」達の参入
には目を見張るものがある。
特にFacebookが顕著



東北農政局若手職員との意見交換会

であり、「おじさん構文」、
「Facebookは高齢者の社
交場」などと揶揄されてい
るのも事実である。SNS
黎明期世代の若者は一步引
いてSNSを利用している
が、そうではない「おじさ
ん」達の高い構文力にはい
つもクスツとさせられてい
る。SNSに飽きずに今後

も自分の文章能力の反面教
師として頑張ってもらいた
い。

さて、青年部は今年で創
部48年目になり39名の部員
で活動している。コロナ禍
ではあるが日々を若者らし
く活発に活動中である。主
たる活動として、水稲育苗
研修巡回、水稲圃場巡回、

青年部圃場におけ
る高収益作物栽
培の実践、J A 県
青協への参加、村
内各団体への協力、



看板コンクール出展作品

研修会、懇親会など。多岐
にわたる活動は、何事にも
代えられない若者の時期の
一部を青年部で過ごすのも
良いのではないだろうか。
現在は限られた活動では
あるが青年部では随時、盟
友（部員）を募集していま
す。陽キャ、陰キャ、コミ
ュ障、親に入れと言われた
等々に拘わらず一度何かし
らの活動に参加してみても
いかがでしょうか。入部1
年目は部費が掛からないの
でお気軽に参加してください
い。参加（入部）希望者は
お近くの青年部員、OB、
営農支援課（もしくはお近
くのJ A 職員）までお知ら
せください。

農地を相続した場合は、届出が必要です!!



農地の所有者が亡くなり、法務局で相続登記が完了したら、その農地がある農業委員会への届出が義務付けられています。忘れずに届出ください。届出を怠ったり虚偽の届出があった場合は、過料が科せられる場合があります。

※令和6年4月1日から、相続登記も義務化されます。

問い合わせは農業委員会(Tel45-3654)まで

農業委員会 1年の活動のあらまし (令和4年1月～令和4年12月)

◎定例総会・全員協議会

- 1月 7日 第1回農業委員会定例総会・全員協議会
- 2月 2日 第2回農業委員会定例総会・全員協議会
- 3月 2日 第3回農業委員会定例総会・全員協議会
- 4月 4日 第4回農業委員会定例総会・全員協議会
- 5月 2日 第5回農業委員会定例総会・全員協議会
- 6月 2日 第6回農業委員会定例総会・全員協議会
- 7月 4日 第7回農業委員会定例総会・全員協議会
- 8月 2日 第8回農業委員会定例総会・全員協議会
- 10月 3日 第9回農業委員会定例総会・全員協議会
- 10月11日 第10回農業委員会臨時総会
- 10月19日 第11回農業委員会臨時総会・全員協議会
- 11月 2日 第12回農業委員会定例総会・全員協議会
- 12月 2日 第13回農業委員会定例総会・全員協議会

◎農地パトロール

- 7月 4日 農地パトロール (農業委員・土地改良区・農協)
- 11月 2日 農地パトロール (農業委員・土地改良区・農協)

◎部会の開催

- 1月 7日 農政部会 (令和4年「農委だより」の最終校正)
- 1月20日 令和4年「農委だより」発行
- 2月 2日 農地部会 (遊休農地への対応について)
- 4月 4日 農地部会 (耕作放棄地の所有者への対応について)
- 11月21日 農地部会 (遊休農地への対応について)
- 11月21日 農政部会 (令和5年「農委だより」について)
- 12月22日 農政部会 (令和5年「農委だより」の校正等)

◎農業会議・秋田中央地区農業委員会会長会関係

- 4月25日 秋田中央地区農業委員会会長会通常総会 (秋田市)
- 5月30日 市町村農業委員会事務局長会議 (秋田市)

- 5月31日 県選出国会議員要請集会・全国農業委員会会長大会 (東京都)
- 6月24日 秋田県農業会議通常総会・市町村農業委員会会長研修会 (秋田市)
- 6月29日 秋田県農業委員女性協議会総会・研修会 (秋田市)
- 7月13日 農業者年金加入推進特別研修会 (秋田市)
- 8月 9日 秋田中央地区農業委員会地区別研修会 (秋田市)
- 9月 9日 秋田中央地区農業委員会会長、会長職務代理者、事務局長会議 (秋田市)
- 11月 1日 秋田県農業委員会大会 (大仙市)
- 11月 7日 秋田県農業委員女性協議会地区別研修会 (秋田市)
- 11月 7日 農業委員女性登用促進に関する意見交換会 (秋田市)
- 11月30日 農業者年金加入推進セミナー・県選出国会議員要請集会～12月1日 全国農業委員会会長代表者集会 (東京都)

◎関連事業関係

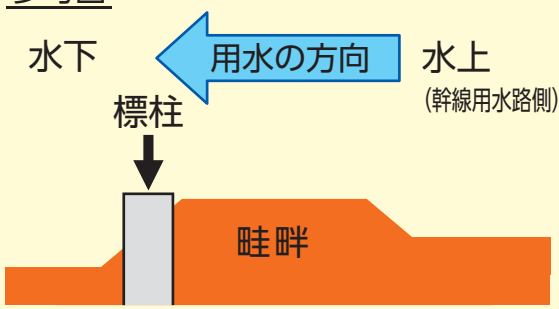
- 1月 7日 農業委員研修会 (農業委員会主催/講師: ㈱アセット 榊代表取締役榊原喜久氏)「人生100年時代の老後設計」
- 2月21日 令和4年度農作業標準作業料金の設定に伴う、受託組合との会議
- 2月24日 大潟村外周辺4市町農業委員会連絡協議会

畦畔に関する まめ知識



- 下図は、農地 (配分当初) の標準的な畦畔の断面図です。畦畔は、幹線用水路上流側の水田機能 (水漏防止等) を守るために必要なもので、コンクリート製の境界標が設置されています。
- 境界標には、絶対さわらない、動かさないようにしましょう。
- 隣地との境界畦畔の管理 (草刈り等) にあたっては、互いに十分相談しましょう。

参考図



eMAFF農地ナビで、 農地情報を公開しています。

eMAFF農地ナビ (農地情報公開システム) は、農業委員会等が整備している農地台帳および農地に関する地図について、農地法に基づき農地情報をインターネット上で公表するサイトです。

新たに農業を始める方や、農地の規模拡大を希望する方はご活用ください。



eMAFF農地ナビ → <http://map.maff.go.jp>

圃場内に農舎等を 建てる場合は 許可が必要です



農地転用 (農舎等の農業用施設・既設用地の拡張等) の際には、必ず事前に相談してください。なお、許可のない農地転用については原状回復等の措置が講じられますので注意してください。転用許可申請書に添付する書類等詳細についてはお問い合わせ下さい。■問合せ：農業委員会(Tel.45-3654)

農業者年金に加入しましょう!! 詳しくは同時配布のパンフレットをご覧ください。